



## 中空知広域ごみ処理施設からの生ごみ発酵肥料の取り扱いについて

中空知広域ごみ処理施設（リサイクル）  
農業改良普及センター（東部・西部・雨竜西部）

中空知広域ごみ処理施設（リサイクル）からの生ごみ発酵肥料について、使用に当たっての問い合わせが多く見られます。

この資材について、ほ場試験など十分な把握がされていないため、当面、下記のことについて留意し使用して下さい。

### 使用に当たっての留意事項

生ごみ発酵肥料における窒素の化学肥料代替率は60%程度と思われ、現物100kg当たり窒素2.2kg（3.7kgの60%）が肥料として働き、また炭カル26kgにも相当します

稲ワラ、乾燥鶏糞は北海道施肥が1倍より計算

生ごみ発酵肥料 (美O1a)	含水率 (%)	成分量(現物当り%)				C/N比	備考	
		窒素	燐酸	加里	カルシウム			
	20.9	3.7	6.1	0.6	13.8	5.77		
参考	稲ワラ堆肥	71.0	0.4	—	0.3	—	16.0	家畜糞尿無
	乾燥鶏糞	16.0	2.5	—	2.3	—	11.0	

炭そ率(C/N比)：低いほど、分解が早く、肥効も早い

1. 窒素成分が高く、炭そ率も低いことから、堆肥としてではなく、肥料として使用する。従って、ほ場への過剰な施用は避ける

### 施用の目安 100～200kg/10a

2. ほ場に直接施用する場合、施用量に応じて減肥する

### 減肥の目安（施用後、すぐに作物を作付する場合） 100kg当り、窒素で2.2kg（硫安10kg相当）

3. 水田への直接施肥は避け、稲わらなど堆肥への添加剤として使用し翌年施用する（稲ワラ500kg当り 50～60kg添加）
4. ガス障害や濃度障害発生の恐れがあるため、ハウスでの使用は避ける
5. 豆類等タネバエ発生の恐れがある作物への使用、及び高pHほ場への使用は避ける